

巡礼者イニゴ

聖イグナチオ・デ・ロヨラの劇的な生涯の劇

鹽野 めぐみ

7

第二幕 第4場

1521年6月28日夜

ロヨラ城イニゴの病室

登場人物：騎士	イニゴ・デ・ロヨラ
ロヨラ城城主	ガルシア・デ・ロヨラ（イニゴの兄）
城主夫人	マグダレーナ・デ・ロヨラ（イニゴの義姉）
主任司祭	エセイサバレナ神父
医師	Dr. ボネット
医師	Dr. カンガス

城主： イニゴ、エセイサバレナ神父が来られたよ。イニゴの全快を祈ってもらい、元気になるために終油の秘跡(注1)を授けていただく。

城主夫人： イニゴ、息をするのも苦しいのに大変でしょうが、神様にすべての罪を赦していただくために、告解もしてくださいね。

イニゴ： パンプローナ城で、決戦の前に友人に告白したけど、今神父に正式告解できるのは、嬉しいですよ。ずいぶんたくさん罪を犯しましたからね。それを赦されて、きれいな心で神様の前に出たいですから。
・・・・・・・・ 僕はもう長くはないようですね？

城主： そんな気弱なことを言ってどうする！

勇者イニゴはそうやすやすとは死なないさ！

城主夫人： 告解して罪を赦され、終油の秘跡とご聖体をいただければ、きっと元気になります。私たちは外で祈っていますからね。

主任司祭： 告解が終わったらお呼びします。一緒に祈りましょう。

第二幕 第5場

同 28 日夜

ロヨラ城の応接間

城主夫人：いつくしみ深い神様、どうぞイニゴの命を お救い下さい。

城主： 大丈夫。神が助けてくださるよ。イニゴが、そう簡単に死ぬものか。

Dr.カンガス：今はただ祈るのみです。今夜が峠になるでしょう。

Dr.ボネット：明日の聖ペテロの祝日まで持ちこたえれば、希望が出てきます。

城主夫人： 神様の思し召しなら、命を救ってくださるでしょう。神様のみ手にお委ね致しましょう。

(重苦しい沈黙が続く。時折マグダレーナ夫人の祈りがかすかに聞こえるのみ。
しばらくして、扉をノックする音。)

エセイサバレナ神父：イニゴ様の告解が終わりました。だいぶ疲れていますが、よく頑張られました。皆さんどうぞ病室にいらしてください。

第二幕 第6場

同 28 日夜

再びイニゴの病室

エセイサバレナ神父：これから終油の秘跡と聖体拝領を行います。皆さんも
一緒にお祈りください。 Dominus vobiscum. (主は皆さんとともに。)

一同： Et cum spiritu tuo. (またあなたの霊とともに。)

(ラテン語の祈りが続き、イニゴの額と両手に病者のために祝別された油が塗られる。やがて司祭はイニゴの目の上に聖体を掲げる。イニゴは苦しげに目を開き、周囲にやっと聞こえるような声で、全身で息をしながら、力を込めて答える。)

イニゴ： Domine, non sum dignus ut intres sub tectum meum, sed tantum dic verbo et sanabitur anima mea. (「主よ、私はあなたをお迎えするに相応しいものではありませんが、一言仰って下されば、私の魂は癒えます。」)

(イニゴは敬けんに聖体を拝領する。)

エセイサバレナ神父：イニゴさん、イエスご自身が来てくださったよ。
もう何も心配せず、天の御父にすべてをゆだね、ゆっくり眠りなさい。
一同：お休みなさい。

【黒い使いの合唱】

♪イニゴよイニゴ よくもまた ゆるしや終油の秘跡など
おまえに似合わず受けたもんだ 地獄がすぐそこだったのに

聖体の、イエスと一緒にのお前には 今のところは 近づけねー
覚えているよ そのうちに きっと仕返しするからな

【白衣の天使の合唱】

♪ああイニゴ 苦しき中で 来し方の歩み顧み
生涯の 罪を悔やみて へりくだり 告白せしを
憐れみの 御神はききて 赦しと平和 与え給えり。

(注1)：第二バチカン公会議後は、「病者の塗油の秘跡」と呼ばれ、高齢者や手術前の病人などに、病苦に耐え、神に信頼する恵みを願って授けられるようになったが、イニゴの時代には臨終が近い危篤の状態にある病人に授けられたので、「終油」と呼ばれ、受ける病人にはいよいよ最期が近づいたという印象を与えた。